

2021年11月15日  
日本郵便株式会社  
東京支社

「鉛筆の資源循環システム」協業に関する取り組みの実施

日本郵便株式会社東京支社（東京都港区、支社長 樋口 良行／以下「日本郵便」）は、三菱鉛筆株式会社（東京都品川区、代表取締役社長 数原 滋彦／以下「三菱鉛筆」）、株式会社サカタのタネ（神奈川県横浜市、代表取締役社長 坂田 宏／以下「サカタのタネ」）および品川区教育委員会とともに、使用後の鉛筆を回収し、棒状肥料やバイオマス発電として再利用する「鉛筆の資源循環システム」への取り組みの実証実験を行います。

1 概要

現在使用されている鉛筆は、短くなるまで使われた後は、ごみとして処理されてきました。

今回、三菱鉛筆は、新たに「フォレストサポーター鉛筆」を開発し、使用後は棒状肥料として、また、従来の鉛筆はバイオマス発電に燃料として再利用することとしました。

日本郵便は、この鉛筆の資源循環システムに協力することとし、品川郵便局配達地域内の品川区立小学校・義務教育学校の11校と品川郵便局に使用済み鉛筆回収箱を設置し、分別回収します。

回収済みの鉛筆が木粉化、棒状肥料として再生された後は、回収箱設置の小学校・義務教育学校に無償配布します。棒状肥料化にあたってはサカタのタネが開発協力を行っています。

また、品川郵便局において11月15日（月）から「フォレストサポーター鉛筆」のテスト販売を開始します。

【鉛筆回収箱「ペンシルポスト」】



2 実施期間

2021年11月15日（月）から約1年間

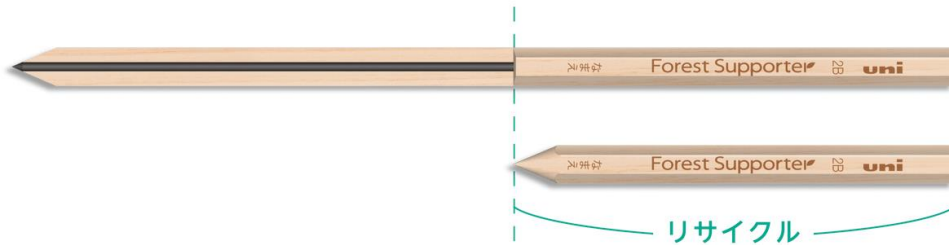


【参考】

1 フォレストサポーター鉛筆

正しく持つことができる長さまで芯が入っており、後端には芯が入っていない鉛筆です。使い終わると芯が含まれておらず、自然由来の接着剤と塗料を使っているため、再利用しやすいという利点があります。

【フォレストサポーター鉛筆】



使い終わると芯がなくなります。

芯がないところは回収して活用、肥料に生まれ変わります。

2 鉛筆の資源循環システム



以上

【報道関係の方のお問い合わせ先】

日本郵便株式会社 東京支社 経営管理部  
(経営企画係)  
電話：(直通) 03-5574-9655

【鉛筆の資源循環システム及びフォレストサポーター鉛筆に関すること】

三菱鉛筆株式会社 お客様相談室  
電話：(直通) 0120-321433

【フォレストサポーター鉛筆の販売に関すること】

日本郵便株式会社 東京支社 郵便・物流営業部  
(店頭・広告ビジネス係)  
電話：(直通) 03-5574-9393



郵政創業150年